

「およたま通信」名前の由来

大曲出張所が管理している4つの河川、雄物川、横手川、玉川、丸子川の頭文字をそれぞれとって名付けました。



打ち上げ花火の様子



会場内の様子



キャンプ可能駐車場の様子

大曲の花火大会無事に終了

平成23年8月27日(土)大仙市大曲の雄物川河川敷において、第85回全国花火競技大会が開催されました。

今年は、東日本大震災による被災地の一日も早い復興を願い、『元気な日本』のテーマとし、世界文化遺産に登録された平泉を題材とした大会提供花火など、27社の花火業者が参加のもとに、約1万8千発の花火が打ち上げられ、約70万人の観客を魅了しました。

会場となった雄物川河川敷は、大仙市及び大曲商工会議所が国土交通省から一時占用許可を得て、7月下旬から観覧席を設置したもので、現在は後片付け作業を行っています。

また、河川敷内のキャンプ可能駐車場では、たくさんの家族連れの方々などからも利用され、花火大会を楽しみました。

この地区は大曲捷水路事業に伴い、現在の形になっており、普段は公園などに活用されています。

警察関係者をはじめ、多方面のご尽力のおかげで、特に大きな事故等もなく、無事大会が開催されました。

※ 大曲^{しょうすいろう}捷水路事業とは…… かつて雄物川は、大曲の市街地に大きく蛇行し、町の中心部を流れる丸子川と蛇行部で合流し、そこは、川幅が狭く洪水のたびに氾濫を繰り返していました。そこで、洪水防止のため、大曲市内で大きく蛇行していた雄物川をショートカットして、まっすぐな川にし、川幅を広げた事業です。